

- (c) 銀河系部但し当面は木曾観測所勤務  
 (d) 青木信仰 (Tel. 0422-32-5111, ex. 231 または 222)  
 (e) 1987年3月7日(土)(必着)

◎応募資格: 大学院修士(1987年3月取得予定を含む)  
 以上の学位を有する者またはそれに相当する研究歴を有する者

◎着任時期: 決定後出来るだけ早い時期

◎提出書類:

- 履歴書および研究歴
- 論文リスト(共著の場合には応募者の役割分担を具体的に示すこと). 主要論文別刷(4篇以内)各2通
- 研究上の抱負(1200字以内)
- 応募者について, 当方より意見を求めることの出来る方2名の氏名・所属・職・連絡先.

◎応募書類提出先: 〒181 三鷹市大沢 2-21-1  
 東京天文台 古在由秀

封筒の表に「助手応募書類在中」及び「応募分野名」を朱記し, 郵送の場合は書留にて送付のこと.

#### 宇宙科学研究所教官公募

この度, 下記の要領により, 教官公募を行いますので, 広く適任者の推薦, 応募を求めます.

#### 記

1. 公募人員 助教授 1名
2. 所属部門 宇宙圏研究系: 高エネルギー天体物理学第1部門
3. 専門分野 飛翔体を用いた高エネルギー放射線(X線ガンマ線等)の観測による天体物理学の研究, および測定技術の開発.  
 同研究系には, 現在, 高エネルギー天体物理学第1, 第2, 第3部門および赤外線天体物理学部門があります.  
 高エネルギー天体物理学第2, 第3部門と緊密に協力しつつ, 研究を主導すると共に, 当研究所が国立大学共同利用機関であることを十分理解し, 当該分野の科学衛星計画および共同利用プログラムの遂行に積極的な役割を果す方を求めます. 尚, 当該部門の教授には小川原嘉明が在籍しています.
4. 着任時期 決定後, なるべく早い着任を希望します.
5. 提出書類 (1) 略歴, (2) 研究歴, (3) 論文リストおよび主要論文別刷, (4) 研究計画(自薦の場合のみ), (5) 他薦の場合: 推薦書2通. 自薦の場合: 本人について意見を述べられる人2名の氏名, 連絡先.

6. 公募締切 昭和62年3月14日(土)必着
7. 宛 先 1) 宇宙科学研究所 所長 小田 稔  
 〒153 東京都目黒区駒場 4-6-1  
 電話(代表) 03-467-1111  
 2) 問い合わせ, および資料の請求は下記に願います.  
 宇宙圏研究系主幹 田中靖郎  
 内線 308
8. その他 選考は, 宇宙科学研究所運営協議員会議において行ないます. 応募者に適任がない場合, 決定を保留することがあります. 封筒の表に「助教授応募(推薦)書類在中」と朱で明記して下さい.

#### 天文情報のパソコン通信

パソコン通信を利用して, 彗星や新星など天文情報を24時間無料で提供するサービスを横浜市の外郭団体である(財)横浜市青少年科学普及協会が試験的に実施しています.

ホストの電話番号は 045-832-1177 で 300 または 1200 bps (全二重) でアクセスできます. 内容は全て英文です.

問い合わせ先:

〒235 横浜市磯子区洋光台 5-2-1  
 (財)横浜市青少年科学普及協会  
 天文事務室(担当・山田)  
 Tel: 045-832-1166

#### 学会だより

#### 会費改訂のお知らせ

本天文学会の財政状況につきましては天文月報1986年5月号でくわしく説明申し上げましたが, この数年間, 支出が収入が上回っており, 現状のままでゆきますと, ほぼ1~2年後には累積繰越金も底をつく状況にいたっております. 本会としましては経費節減につとめ, また事業収入の増加をはかってまいりましたものの, 会を円滑に運営してゆくためには会費の改訂も考慮せざるをえないと判断いたしまして, 周知のとおり1986年春季年会における総会ならびに評議員会, 理事会などにおきまして, ひろく会員の皆様のご意見をいただき, 討論を重ねてまいりました. このたび1986年10月の評議員会におきまして慎重な検討を重ねたすえ, 昭和62年度分より下記のとおり会費の値上げを行うことが決定されました.

昭和62年度より日本天文学会の会費を次のように定めます。

- 通常会員会費……年額 5,000円 (現行 3,500円)
- 特別会員会費……年額 12,000円 (現行 10,000円)
- 特別会員学生会費……年額 10,000円 (新規に設定)
- 賛助会員会費……一口 30,000円, 一口/年以上  
(現行一口 20,000円)

上記のうち学生会費とは会員が特別会員であり、かつ学生、大学院生、研究生、奨励研究員等に相当する場合におさめていただく会費をさします。

今回の会費値上げによりまして、本会の運営は向後数年間はより円滑に行きつめる見込みではありますが、加えて会としまして一層の経営改善につとめてゆく所存であります。皆様のご理解とご協力を切望する次第であります。  
日本天文学会会計理事 祖父江義明

「ハレー彗星をとらえた」

日本天文学会編「ハレー彗星をとらえた」は大変好評で、学会では発刊(10月20日)以来12月までに、160部を会員の皆様へ頒布致しました。

現在40部ありますが、この在庫分処理を以て学会におけるこの作業を終りたいと考えています。ご希望の方はお早目にお申し越し下さい。[定価 2,800円, 頒布価格 2,500円+郵送料(郵送料目安: 1冊300円, 2冊450円, 3冊500円)]

☆ ☆

☆ ☆ ☆

◇ 2月の天文暦 ◇

日時	記	事
4 18	立春	(太陽黄経 315°)
6 1	上弦	
10 1	月	最遠
12 14	水星	東方最大離角
14 6	望	
16 19	冥王星	留
18 10	水星	留
19 14	雨水	(太陽黄経 330°)
21 18	下弦	
26 1	月	最近
28 3	水星	内合
28 10	朔	

1986年11月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	—	—	11	1,	2	21	1,	2
2	2,	23	12	0,	0	22	1,	2
3	2,	32	13	0,	0	23	2,	3
4	3,	21	14	0,	0	24	—,	—
5	—,	—	15	—,	—	25	0,	0
6	2,	20	16	1,	4	26	0,	0
7	2,	12	17	—,	—	27	3,	5
8	2,	8	18	1,	3	28	—,	—
9	—,	—	19	1,	5	29	1,	1
10	1,	1	20	2,	4	30	0,	0

(相対数月平均値: 11.2)

◇ 2月の日月惑星運行図 ◇

